

事業所名

こども発達支援びったんこ

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2025年

2月

10日

法人(事業所)理念	-Realization- それぞれの人が思う"あたりまえ"の生活を実現すること -Expand your Horizon- あなたの"やってみよう"へ一歩踏み出すお手伝いをする -Acknowledged Existence- あなたの声を聴き その思いを最大限に尊重すること								
支援方針	<p>保育士、看護師、リハビリ専門職、元特別支援学校教員等がさまざまな視点からお子さまの成長を支援していきます。</p> <p>預かり支援では「びったんこにきて楽しい」と思ってもらえるような自由あそびの提供をメインの活動に設定し、楽しみながら心身の成長をうながしていきます。また、毎月の制作活動や食事指導を含めた基本的な生活習慣の獲得、身辺自立にも力をいれています。「おもいっきり感触あそびを楽しんだ!」「苦手なものが食べられるようになった」「ストローマグで水分補給ができるようになった」「座って絵本の読み聞かせに参加できるようになった」等、できなかったことができるようになる支援をしています。また、看護師が常駐しているので医療的ケアが必要なお子さまに関しても安心してご利用できる体制を整えています。</p> <p>個別療育では子ども達が「やりたい」と思う活動を個人に合わせて提供し、一緒に目一杯楽しむ中で「できた」「もっとあそびたい」といった気持ちをほぐし、心身の気持ちを整える中で、園や家庭における日々の生活が安定してくることを目指しています。また個人の苦手部分に対してもまずは、あそびを通してスタッフとの人間関係を形成しながら、徐々に課題を設定し「できた」経験を積み重ねていけるよう働きかけていきます。その積み重ねの結果、個々の苦手や特性を抱えながらも社会の中で生きていく力が身につけられるよう療育内容を設定していきます。</p> <p>また、保護者様の声に常に耳を傾け、日々の悩み事などを話しやすい雰囲気づくりを大切にしています。</p>								
営業時間	9時	00分	から	17時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 看護師は、日々の体調の確認や安全な医療的ケアを提供する。 新しい場所での生活に慣れるよう、本人の意思を尊重しながら、のびのびと過ごせる環境、雰囲気を作っていく。 食事に関しては、その時の利用児童の状況を適切に把握しながらかわっていく。少しでも食べられる量が増えるように工夫をしたり、好きな食材だけでなく苦手な食材やあまり慣れていない食材についても、スタッフとの関係を築きながら“もう少し頑張って食べてみよう”という気持ちをもってもらえるよう働きかけたりする。 身支度や衣服の着脱、トイレトレーニング等も発達段階に合わせて取り組んでいく。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指す。 全体の時間を通して、あそびの中で楽しみながら座る、立つ、寝返り等、身体を動かす機会をつくる。 楽しく身体を動かす中で、動きを模倣したり力加減等を学んだりする。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 手あそび等、大人や利用児童と一緒に楽しめるあそびを取り入れていく。 制作活動等、やってみようという気持ちを膨らませられるような課題を提示しながら活動に取り組む。 様々なあそびを通して、みずから考えて行動したり、工夫してあそんだりする機会を設けていく。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 普段のあそびの中でのやりとりを通して、他者とのコミュニケーションが円滑にすすんでいけるよう支援していく。 利用児童の発達段階に応じて適宜、適切な量、内容の言葉かけを行い、言葉が増える、理解するきっかけを増やしていく。 絵本の読み聞かせ等を通して、ことばに触れる機会を設けていく。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> あそびの中で他者を意識し、共にあそぶことの楽しさを体験していく。 家族とは違う大人や他の利用児童と一緒に時間を過ごす中で、自己の存在に気づいたり、協調性を学んだりする。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳や送迎の際に情報交換を行う。 実際の療育場面を見学していただく中で療育の理解を深める。 面談を通して保護者様とお話する機会を設ける。 医療的ケアを一時的に代行する等の支援を行う。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 同年代の子ども同士がかかわる時間を設け発育を促す。 園の情報を保護者様、本人から聞き取り日々の療育に活かす。 必要に応じて、園や学校との連携を図る。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所と定期的に連携を行う。 必要に応じて他事業所と情報交換を行う。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 新人職員研修 法定研修 日々の療育の振り返りの中での意見交換 			
主な行事等	季節に合わせた行事								